

地域人材ネット

市民との協働～若者のまちづくりへの参画と教育分野の効用 ～

林田 暢明 (はやしだ のぶあき)

TAO 代表
総務省 地域資源・事業化支援アドバイザー
共同通信社「47News」コラムニスト



○ 登録者情報

所在地

福岡県福岡市

略歴

2001年日本銀行 入行
2003年民間シンクタンク 勤務
2005年TAO CAFE 設立(2009年よりTAOIに改称) 代表に就任
2011年Associated COMMUNE(シェアオフィス) 設立 代表に就任
2013年総務省 地域資源・事業化支援アドバイザー 就任
2015年共同通信社「47news:地方創生の現場から」コラムニスト
2015年株式会社 KADOKAWA・DWANGO 教育事業本部 アドバイザー
2016年 学校法人 角川ドワンゴ学園 N高等学校 アドバイザー
2016年 テレビ西日本「CUBE」レギュラー・コメンテーター

著書・論文等

2015/2月共同通信社 47news 連載「地方創生の現場から:ブルーライズする生き方」
2015/4月共同通信社 47news 連載「地方創生の現場から:暗夜行路の地方創生」
2015/5月共同通信社 47news 連載「地方創生の現場から:コミュニティの核」

○ 市民との協働～若者のまちづくりへの参画と教育分野の効用～

取組の内容

【小さな拠点の立ち上げ・経営】福岡市内において自らカフェ&バー「TAO」を経営（開業後12年目、2016年3月現在）しています。ここは飲食業として場を維持・管理しつつ、「まちの拠点」として様々な学びの場、コミュニティを創出しています。この自身の経験を活かし、小さな拠点を、なるべくお金をかけずに設立しサステナブルに運営するノウハウ、手法を提供します。【教育】KADOKAWA・DWANGO教育事業本部アドバイザーを務め、2016年4月に開校する「N高等学校」と全国の自治体とを結びつけたキャリア体験プログラム等を企画しています。また、福島県双葉郡「双葉みらい学園」の設立に向けて「こども未来会議」をプロデュースしたほか、福島県南相馬市教育振興会議・副会長を務めました。【メディア】共同通信47news上においてコラムニストを務めるほか、株式会社共同通信デジタルと連携し、自治体の情報発信に関して新規デジタル媒体の設立に、総合プロデューサーとして携わっています。

実績

【北海道栗山町】地域起こし協力隊が中心となって創設した町の小さな拠点「くりとくら」の事業計画立案から場所の選定、および開店後のオペレーション全般に関するコンサルティング業務を実施。自身が2005年から14年間に渡って飲食店を経営した実績と経験から、「持続可能な経営」をコンセプトとして店舗立ち上げに貢献。18/11月に無事にオープンさせることに成功した。

【東京都多摩市】2017年から取り組んできた「多摩市若者会議」のファシリテーター・コーディネーターを務める。2017年度「多摩市若者会議」の中で出てきたアイデア「若者たちの拠点としてのカフェ」を設立するためにクラウドファンディングを企画・実施し成功させた。今後、クラウドファンディングで集めた資金をベースに「Michi Cafe」を立ち上げ、2019年度は若者たちによる自律的な運営と経営を学ぶ場として運用していく方針。

【KADOKAWA・DWANGO】教育事業本部アドバイザーとして2016年4月開校のN高校の設立に関わり、その過程で、およそ15自治体と、後継者不足にあえぐ地域における職業体験を計画。「教育と地域の接続」を実践しながら、地域を支える人材の育成と地域活性化の両立を目指している。

【目黒区商店街ミライ会議】目黒区商店街連合会が主催する「目黒区商店街ミライ会議」のファシリテーター、オーガナイザーを務めた。具体的には「人はたくさん通っているが、若者との接点が年々なくなっていく」という課題を抱えた商店主と、「商店街は通りはするけれど、個人店には入ったことがない」という目黒区内の高校生を結びつけ、商店街が若者と共存するための未来の形を探るという企画。多摩大目黒高校や駒場高校など公立・私立高校計5校の有志の生徒50名程度が参加した。この中で、商店主にとっては若者の視点から、これまで見えなかった商店街の姿を把握することができた一方、高校生にとっては、商店街の魅力や課題を発見し、より良い商店街にするためにはどうすれば良いかを考える探求学習プログラム(PBL)として取り組むことができた。

工夫した点や苦労した点

どの事業も「地域の人々が行政に求めること」ではなく、「地域の人々がどういふ社会を作りたいか？」を、ワークショップを通して引き出し、そのために自分たちが何をすべきか、何ができるかを目に見える形で企画にしてみました。

ひとことPR

地域で何か事業を起こすのに、1,000万円といった大きなお金は、逆に知恵や工夫を殺してしまうものです。100万円しかないなら900万円をどうやって調達するか？ばかりを考え、補助金ありきの地域づくりが横行していますが、100万円しかないなら100万円ですごな面白いことができるのかを考える手助けをします。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

○	1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化	○	8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

TAO	http://taocafe.jp/
47News「地方創生の現場から」	http://www.47news.jp/47topics/chihou-sousei/

連絡先

メールアドレス	hayashida.tao〔アットマーク〕me.com	その他	
---------	-----------------------------	-----	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。